

2005年度2学年現代文 1学期中間考査

この問題用紙はファイルの一番上にとじて保存すること。（とじていない場合はファイル提出不合格となる。）
 字は丁寧に濃く書くこと。極端なくせ字、汚い字、読みとれない字の場合は減点の対象になる。
 漢字を使うこと。常用漢字を書かない場合、減点の対象になる。
 文章を書くときには句読点「。」や「、」を絶対に忘れないこと。ついてない場合は減点の対象になる。
 本日ファイル提出です。進路指導室前廊下のクラス指定されたダンボール箱に入れておくこと。

次の表はコミュニケーションメディアのメリットデメリットをまとめたものである。この表から数種類のメディアの共通点と一つのメディアの特異点（普通と異なり特別なこと。特にすぐれていること。）を読み取り、コミュニケーションメディアにとって大切な点について述べなさい。
 ただし、以下の要素を満たした文章にすること。

- ナンバリングとラベリングを使った文章にすること。（ラベルは10文字以内とする）
- 常用漢字を使用すること。
- 四段落の文章にすること。
- 第一段落は解答欄の空欄を埋める形で記すこと。
- 各段落は決められた場所に記すこと。

メディア	メリット	デメリット
本	何度も読める。いつでも手元に置ける。	自分で主体的に読まなければ情報が入らない。 読めない字がある場合は時間がかかる。
テレビ	今起こったニュースがわかる。映像、音声、文字が全て使える。	携帯できるテレビはまだ高価である。停電になると見られない。（ほとんど電池で動かない。） 周りの人に聞かれてしまう。
肉声（空気・会話）	手軽に情報を伝達できる。	映像が無い。ものの形の情報を得にくい。
ラジオ	持ち運びができ、日本のほとんどの場所で聞ける。	映画館まで行かなければ見られない。見るためには料金が必要になる。
映画	大きなスクリーンで、迫力のある画像が見られる。	いつでも呼び出されてしまう。料金が他のメディアに比べて高い。
携帯電話	圏内であれば、どこでも使え、動きながら通話できる。	動きながら通話できない。画像を送れない。文字が遅れない。（例外もあり。）
固定電話	音声をはっきりと聞こえる。携帯電話に比べて料金が安い。	周りがうるさかったり、集中していないと聞き逃す場合がある。
校内放送	手軽に大人数に情報を伝えることができる。	時間が経つと見えなくなる。簡単に改ざん（字や語句を変えること）されてしまう。
黒板	手軽に情報を伝達することができる。訂正が簡単にできる。	文字が細かい。有料である。新しい情報は次の日まで待たなければならない。
新聞	写真、文字で情報を載せられる。必要な部分を切り取り、手元に置くことができる。	風がふくと掲示物が飛んでいく可能性がある。
掲示板	誰でも手軽に情報を発信できるし、見るだけで情報を得ることができる。	

次の問題について後の問いに答えなさい。

物語に感動すると、今度は作者のことが気になってくる。「木を植えた男」の作者ジャン・ジオノとは、一体どんな人物であったのか。私と妻が、ジオノの故郷であるプロヴァンス地方の田舎町マノスクを（シ）タズねたのは、一九九五年の秋のことであった。我が国でジオノの名前を知る人は少ない。しかし（ミ）渡仏してわかったのは、ジオノが本国で知らぬ者としてない大作家であったということだ。そうだし出した。映画好きな読者なら、一九五八年に公開されて大ヒットした仏映画「河は呼んでいる」をご存知であろう。あの原作者こそが、ジオノだったのである。

デュランス河がゆるやかに流れるマノスク周辺を歩き回った。帰国後、私と妻は共著で「木を植えた男をタズねて ふたりでいく南仏プロヴァンスの旅」という写真紀行文集を出版した。

それ以降、今日までに起こったことを次に記してみよう。夫婦（ア）共著本を読んで共感してくれたあるテレビ局のスタッフたちが、番組を制作することになった。私たち夫婦は撮影のため、もう一度マノスクを（イ）オトズれた。やがてそのテレビ番組が全国放送されると、物語に共感し感動する人々の数はもつと増えた。その中の一人に新潟県知事がいたのは（エ）グウゼンだったのか、それとも（イ）天の配剤であったのか。知事はちょうどその頃、二十一世紀記念事業として新潟県は何を行うべきか、（ウ）模索の最中だった。たまたま知事と対談した時、私が木を植えることの素晴らしさを力説したのは言うまでもない。その折の対談が遠いきつかけになったのかもしれない。新潟県は二〇〇一年元旦を期して「緑」の百年物語」をスタートさせた。これは新潟県民が二十一世紀の百年間をかけて木を植えつづけるという世界的にも例を見ない県民運動なのである。

木を植える……。一口に言うのはたやすいが、お金もかかれば手間もかかる。しかしジオノの物語に（エ）触発された私は、いつのまにか「木を植える男」になっていた。全国各地を旅行するたびに、（オ）キカイを見つけては木を植えるようになったのだ。いや、私ばかりではない。今や二百五十万人の新潟県民も「木を植える男」になり、「木を植える女」になろうとしている。中国には昔から、

前人 木ヲ植ウレバ
後人 涼シ

という言葉があるのだそうだ。おそらくプフィエ老人のような前人がいてくれたおかげで、私たち後人の現在の幸福があるのだろう。だが、いつまでも後人の席に居座るわけにはいかない。いつの日かは私たち自身が（ ）となって、未来の後人たちの幸福のために一本の木を植えなければならぬ。

「一本の木」とは、フィジカルな意味の木でも良いし、メタフィジカルな意味の木でもまた良いと私は考えている。地球の荒野に木を植えてくれたのがプフィエ老人で、心の荒野に木を植えてくれたのが、物語の作者ジオノだったのだ。

問一、――部（ア）（イ）の漢字はその読みを、カタカナは漢字に直して記しなさい。

問二、――部（ア）（イ）の語句を文脈に合う別のことばで言い換えなさい。

問三、――に当てはまる漢字二字を記しなさい。

問四、――部「メタフィジカルな意味の木」について、次の問いに答えなさい。

（１）「メタフィジカルな意味の木」とはどういうことか、「本当の」という言葉を使い、簡単に説明しなさい。

（２）「メタフィジカルな意味の木」はどこに生えるか。文中より五字以内で抜き出しなさい。

問五、ジャン・ジオノが「木を植えた男」を「本」で出版し、その後その思いが様々なメディアとなって伝わり、教科書に載り皆さんが読むことになった。このメディアの変遷をまとめた次の表の空欄（ ）（ ）（ ）に当てはまる語を選択肢より選び記号で答えなさい。

作品名等 作者名等 メディアの種類

木を植えた男	ジャン・ジオノ	本
--------	---------	---

木を植えた男をタズねて	（ ）	（ ）
-------------	-----	-----

（あるテレビ番組）	テレビスタッフ	テレビ
-----------	---------	-----

（ある対談）	新井氏と県知事	（ ）
--------	---------	-----

木ヲ植エル	（ ）	本
-------	-----	---

【選択肢】

（ア）新井満 （イ）新井夫妻 （ウ）ジャン・ジオノ
（エ）フレデリック・バック （オ）映画 （カ）肉声
（キ）ラジオ （ク）新聞 （ケ）本

解答欄にある表現の間違っている部分に傍線を引き、（ ）に正しい表現を記しなさい。ただし、間違っている部分がない場合、（ ）に と記すこと。

次の問題について後の問いに答えなさい

現代は(ア)アイデンティティ不定の時代といわれている。私はなにものか。私は何をして生きていけばよいのか。どうすれば自分らしさを発見できるのか。

これらの問いは青年期につきものだが、最近では、青年期に限らず、およそライフステージのどこにおいても、このような問いにつきまといることが多い。

近代社会は、前時代の共同性を解体させ、一人の個人がある具体的な共同体に(シ)ゾクすることの内的な意味を(セ)キハクさせた。それが、私たちのアイデンティティ不定の大きな要因として関係している。それは同時に、私たちの社会において「大人である」とか「大人になる」とかということが、何を指すのかがはっきりしないことを意味する。

なぜならば、かつては、「大人になる」ことは、(イ)端的に、個人が自分のゾクすべき共同体の一員としての資格を得ることを意味していたからである。共同体があるひとつの精神のもとに統一性を(ロ)タモつていれば、「大人である」この意味はおのずから決まってきた。したがって、「大人になる」ことは、その共同体の核をなしている精神を心身両面において理解し、それを自分が生きていくための基本の型として承認することを意味していた。

よく知られているように、近代以前の社会には、それぞれの社会の(ニ)要請に見合った何らかの「通過儀礼」が存在した。子どもと大人はこの儀式によってはっきりと分けられていた。たとえば、わが国の武家社会における(ハ)元服の儀式は、それを最もよく(ニ)シヨウウチヨウしている。一定の年齢になると、男子は幼名を(ニ)ハイルし烏帽子名をつけ、服を改めて、髪を結いなおしたりさかやきを(ニ)剃つたりした。

ところが近代は、子どもから大人への変化期からこの単純な境目を取り払い、代わりに「教育課程」という、長い射程をもったシステムをあてがうことにした。いうまでもなく、学校制度がその機能を果たすことになったのである。

「教育課程」は、節目のはっきりしないたいへん(ウ)間延びしたプロセスである。それは、人間はだんだんと段階的に成長していつて大人になるものだというイメージを私たちのなかに知らず知らずのうちに植えたのかという自覚を曖昧なものにさせる効果を持っていたのである。

問一、——部(ア)——(ウ)の語句を文脈に合うように、別の表現で言い換えなさい。

問二、——部(ロ)——(ニ)の漢字はその読みを、カタカナは、漢字に直して記しなさい。

問三、——部「通過儀礼」について、現代でも残っている通過儀礼(皆さんが将来行うと予想される通過儀礼)を一例記しなさい。

問四、問題文の結論は何か。空欄に当てはまる漢字二字を文中より抜き出して記しなさい。

「大人への条件が□になった。」

問五、右の結論の根拠となっているもののうち、当てはまるものを二つ選び記号で記しなさい。

- (ア) 共同体の一員の資格
- (イ) 通過儀礼の存在
- (ウ) 子供と大人の境目の消去
- (エ) 節目ない教育課程
- (オ) 精神の統一性

B4プリントの折り方(テスト問題用紙をこのように折ってファイルの一番上に綴じること)

